

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 16 年 10 月 28 日 (2004.10.28)

【公開番号】特開 2002-85988 (P2002-85988A)

【公開日】平成 14 年 3 月 26 日 (2002.3.26)

【出願番号】特願 2000-283977 (P2000-283977)

【国際特許分類第 7 版】

B 0 2 B 7/00

【F I】

B 0 2 B 7/00 1 0 5

B 0 2 B 7/00 P

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 10 月 27 日 (2003.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

【従来の技術】

一般家庭用の簡易な精米機においては、精米機構部の機枠内に突き出した搗精ロールに精米スクリーンを嵌合し、その精米スクリーンの排出口にスクリーン押さえ板を固着し、該スクリーン押さえ板を上記機枠に着脱自在に取付ける構造が採用される。この場合、スクリーン押さえ板を機枠に着脱自在に取付けたために、ねじ止めによる固定手段、或いは樹脂の弾力を利用したフック構造による固定手段が採用されていた。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

米びつ 2 は、上部に蓋 1 1 が被せられ、内底部に外部から操作可能な計量排出器 1 2 が設けられ、その計量排出器 1 2 の下部に投入口セット 1 3 が設けられる。投入口セット 1 3 は精米機本体のホッパー 8 の上部に臨む。この投入口セット 1 3 は再精米時に使用されるものであり、図 2 に 2 点鎖線で示すように、投入用ホッパー 1 4 を引き出せるようになっている。